

第三者評価結果の公表事項（母子生活支援施設）

①第三者評価機関名

社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会

②施設名等

名 称： 社会福祉法人飛騨慈光会 母子生活支援施設清和寮

種 別： 母子生活支援施設

施設長氏名： 河村 達雄

定 員： 20世帯

所 在 地： 岐阜県

③実施調査日

平成25年8月12日（月）～平成26年2月24日（月）

④総評

◇特に評価が高い点

- ・清和寮は、個々の職員が運営理念や基本方針を理解し、それに基づき母子生活支援施設に求められる緊急時の対応や母親と子どもの安心した生活に向けた支援などの役割を担っている。精神疾患の母親には専門病院への受診支援を行うなど、多様な関連機関との連携も図られている。
- ・自立支援計画等は、適宜見直しがされ、母親へも丁寧に説明されている。
- ・運営を担う社会福祉法人慈光会は、他に運営する児童、障がい施設とともに「児童福祉ネットワーク」を構築し、県飛騨圏域の福祉拠点を築いている。また、経営コンサルタントを取り入れた教育や研修が実施されており、法人全体で職員のスキルアップが図られている。

◇改善が求められる点

- ・施設の老朽化については、法人として建て替えの計画がなされているが、母親や子どもから不便という意見がアンケートにある。安心した生活とともに、施設の安全が守られるよう今後も関係機関等との連携強化を期待する。
- ・母親や子どもの課題解決で調整が困難であったり長期に渡るなど複雑なケースへの対応について引き続き粘り強く取り組まれることを期待する。
- ・施設の性格上、地域との交流については慎重にならざるを得ない部分はあるが、地域の児童が施設を訪れる機会を提供するなど方法を模索されることを期待する。

⑤第三者評価結果に対する施設のコメント

国の方針で第三者評価が義務づけられたとはいえ、清和寮がこのような外部評価を受けるのは初めてのことであり、ともすれば独りよがりになっていたのではないかと感じていた取り組みを客観的に評価していただけたということで、とても良い機会を得たと喜んでおります。

今回は全般的に高い評価をいただき、これまで私達が取り組んできたことが間違っていなかったことが確認できたうえ、自信を得ることもできました。特に利用されているお母さんや子どもたちの率直な意見を聞かせていただけたことは大いに参考となりました。

今後、この評価結果を基に、これまでの取り組みの良いところも悪いところも含めて根本的に再検討し、お母さんや子どもたちのためにより良い支援ができるように努力していきたいと考えております。

⑥第三者評価結果（別紙）